



Lecture2

心と魂を浄化し、高次エネルギーを解放するワーク ～聖なる音階を体内に入れこむ方法～

植草：はい、こんにちは。スピリチュアルコネクト、プロデューサーの植草です。

東城：ヒーラーの東城です。

植草：今日はソウルアセンション、
ネガティブエネルギー反転ヒーリングの第2回目です。

第1回目の講義では、ダークエネルギーの話から、なぜ人生がうまくいかないのかであったり、人間関係がうまくいかないのかについて、東城先生より学びをいただきました。

講義を受けられた方から早速メッセージが届いておりますので、私のほうから紹介させていただきます。

まずNWさんより、「目に見えないものは信じられないもの、そういうふうにかけていましたが、実際に目に見えないエネルギーを感じようとしたら、ダークエネルギーを無意識に受け取ってしまっていることに気づきました。傷が小さいうちに修復しないと回復に時間がかかってしまうという教を守っていきたいと思います」。

もうお一方ご紹介します。TMさんです。

「動画、ありがとうございます。今まではどこかで見たような情報を元に自己流で開運をやっていたのですが、動画を見て自己流でやるのがいかに危険でだめなことなのかわかりました。私はつい物事を悪い方向へ考えてしまうタイプなので、エーテル体が傷ついてしまっているのか不安です。ぜひ修復する方法を知りたいと思います」というふうにいただきました。

ありがとうございます。うれしいですね。

東城：はい。

植草：かなり学びを忠実に受け取っていただけたんじゃないかなというふうに思っております。そのほかにもメッセージいただきまして、ありがとうございます。

今日2回目の講義なんですけれども、今日はもう特に重要なポイントをお話したいと思います。

題して『心、魂を浄化し、高次エネルギーを解放するワーク』になっています。ワークなので実際に体験していただきながら癒されていくのを感じていただくというふうになっております。

今日の講義の終わりには、なんと東城先生のほうよりプレゼントということで、聖なる音階を体内に入れていただき、実際に日頃の生活においても癒されるような音源をプレゼントしていただけるというふうにお話を伺っております。ということで大丈夫ですよ。

東城：はい。

植草：はい。なので、まずこの講義の中で、まずその聖なる音階というものが何なのか、じゃあなぜそれが効果があるのかということをしつかりと受け取っていただいて、ぜひトライしていただければと思います。

それでは先生、今日もよろしくお願ひします。

東城：お願ひします。

植草：まず、題にも出てきました高次のエネルギーというものが出てきたんですけども、これはそもそも高次って何なのかとか、エネルギーって何なのかということをお教へてください。

東城：はい。

まず高次のエネルギーというのは、私たちは地球という中に生存してますよね。で、実際は宇宙の壮大なエネルギーの中に光速のように連なっているものがありまして、そちらからのメッセージを常に人間というのは受け取っている状態なんですね。

例えば簡単に言うと太陽の日差しを浴びないと体の具合が悪くなるとか、あと雨をいただかないと人間は生きていけないとか、生物は生きていけないとなるじゃないですか。

そういう見えるところで言うと、そういうエネルギー、だけど、見えないところの潜在意識とか、生きていく上での道標というのはそういう上のほうのエネルギー体からいただいでいく、俗に言う天使だったりとか神様と言われている存在のところの天界からのエネルギーというかたちで、宇宙の中にそういう存在があるので、そちらをイメージいただくっていう意味で、エネルギーをつなげていくっていうのがみんなの中にあるんですよ。

植草：これはまあ、地球がまずありますよね。で、地球の、上というか、上位というか、まあ宇宙がどこまであるかわかんないですけど、宇宙というものがあって、ここからエネルギーとか情報が届いている、

東城：そうですね。

皆さん、いただいでいるんですよ、実際は。だけれど、そこにもうだんだん気づかない世の中になってきてしまつて、天国とか地獄っていう言葉で取りまと

めてしまうと、それはすべて宇宙の壮大なエネルギーの中にあるんですね。

植草：ふーん。

東城：なので、そちらからいただくという状態で、よく、何ですかねえ、ご先祖様から情報いただいたとか、なんか嫌な虫の知らせがしたとか、ああいうのはすべて高次のエネルギーから得ていってる情報なんですよ。

植草：はい、はい。それ、じゃあ宇宙から届く高次のエネルギーを解放するっていうのはどういうことなんでしょう。

東城：まず、受け取らないでブロックしてると跳ね返ってしまいますよね。

まず受け取った時にそのエネルギー体というのをやはり人間の中でそれをきれいなエネルギーのまま放出しておかないと、きちんと出しておかないとやはり中で静電気が起きてしまう。

植草：ふーん、静電気。反発みたいなものですか？

東城：そうなんです。

植草：じゃあ、宇宙からエネルギーが届きました。で、まあきれいな状態だとそれをそのままの状態を受け取れます。で、自分の中でなんか循環して、発散させていくのが正しいやり方ですか。

東城：そうなんです。

だけど、皆さんはそれができないのでやっているつもりができないとか、あと静電気を起こすことによって、やはり静電気っていうと埃吸い取りますよね。せっかくきれいなエネルギーいただいているのに、もう悪いものを全部吸い取ってしまうっていう悪循環を起こしてしまうんですよ。

植草：それはなんかこうハイアーセルフという言葉があると思うんですけども、それとはちょっとまた違う概念なんですか。

東城：そうですね。

高次のメッセージ、イコール皆さん、ハイアーセルフって思う方が多いし、

そういう諸説もあるんですが、実際に私が感じてきている中で見ていると、ハイアーセルフというのは生きている人間が守護霊様とかとは別に、心の中にガイドさん、変換してくれる、例えばエネルギーを読み取ろうと思っても人間にはそこまでの力がないので、心の奥の魂の中にある、何て言うんですかねえ、

ナビゲーターみたいな方がいらっしゃって、その方が私たちにわかるように変換してくれる役目、「右に行っちゃいけませんよ」っていうのをエネルギーでもらっても私たち、わからないじゃないですか。

なので、「右に行っちゃいけませんよ」とか「それやめたほうがいいですよ」と変換してくれるのがハイアーセルフさんだと思ってるんですね。

植草：ふーん。じゃあ虫の知らせは、ハイアーセルフさんが何らかの変換して、

東城：教えてくださる、

植草：ちょっとどうなのっていうアクションをしてくれてるみたいな。

東城：はい。

植草：じゃあ、高次のエネルギーがあって、ハイアーセルフがいて自分がいる、

東城：そうです。

植草：わかりやすいですね。正しいあり方ですね。
で、それが通常だと汚れてしまっていくってことですか。

東城：そうですね。やはり自分たちの中に感情とか思考とかあるので、やはり経験と体験が必ずそれを邪魔するじゃないですか。

川は本当にジャンプすれば渡れるかもしれないけれど、幼少期に渡れなかったら絶対に渡れないって記憶があったりとかするとできないじゃないですか。

そういう自分の中の思考と感情には勝てないんですよ、やはり。なので、そういうのでどんどん歪んでしまう、エネルギーが、

植草：ふーん、なるほど。

じゃあ、その歪みを持っちゃうと高次のエネルギーを受け取れなくなる、

東城：はい。

植草：で、受け取れなくなると、正しい判断ができない、

東城：そうですね。

植草：じゃあ、今日のワークっていうのは、それらを解放して行って、結果どこを目指すんでしょう。解放される、その体調がよくなるのか、正しい選択ができるようになるのかとか、まあいろいろあるかもしれないんですけど、

東城：目指すところは、まずはDNAとかを修復して、本来の生きる道に導き出して行って、ある程度の判断は自分でできるっていう状態を作っていくというのと、あとネガティブに考える癖をなるべくしないようにできる、完璧にできなくするのは難しいので、少しずつですがしなくなったりとか、あとは体調が、睡眠が浅い方だと深くなったりとか、はい。生き物本来の姿に修復していくっていうかたちになりますかね。

植草：ワークなんですね。

東城：はい。

植草：今何気にDNAっていう言葉が出てきたんですけども、DNAの修復って何なんでしょう。

東城：まず科学的とか医学的に言っちゃうともう本当に、

植草：まあそうですね（笑）

植草：難しいんですけど、人間は生きてきてから、生きる前からご先祖様とかそういうところからいろんなものを、もちろん元は前世の自分から引き継いできている中に組み込まれているものがあるって、その中にやはり、何ですかねえ、トラウマだったりとか、悪い癖だとか持ってるんですよ。

で、もちろん今世で生き方をしているうちに、だんだんそのDNAの魂、世の中からDNAの中に影響、性分だったりとか、トラウマとか、それこそしんどさとかを全部DNAにも受け継いでるので、壊れていっちゃうんですよ、DNAの中で。

なので、そこを修正していかないと、やはり体調不良を起こしたりとか、いくらエネルギー受けないようにしようと思っても、DNAの魂の癖があるうちは、もうそっち行かないよ、やはり怖いと思ったらいなくなっちゃうじゃないですか。

それは実は間違ってるんだよって、大丈夫だよっていうのを修復していくっていうふうにしないと、せっかくいいものが来てもすべて拒絶してしまう。

植草：では、生まれた時はそのDNAはまあきれいなものなのか、生まれた時からもうある程度こう汚れて、

東城：そうですね、生まれた時から大体前世のものとかを受け継いでいるので、

植草：ああ、なるほど。

じゃあ、もう生まれた時からそのDNAは傷ついているのか、汚れているのかを
していて、で、それを引きずったまま、じゃあ私たちは成長をしてきてしまっ
たと、

東城：はい。

植草：だから、これを癒してあげないと結局どんなにじゃあエネルギーのワークをし
ますとか、高次からエネルギーを受け取るといいですよって言ったとしても、
そもそも論として受け取る器ができてないから、全く改善しないということが
起こるっていう、

東城：そうですね。

生まれた時にはゼロ歳で、1歳、2歳って赤ちゃんかもしれないですけど、
前世から言ったらばもう何万歳かもしれないじゃないですか。
頑固な魂になってるわけですよ。

植草：うん、なるほど。

東城：はい、はい。そのやはり悪いところを治していかないと、

植草：じゃあ、それをまあほぐしていくみたいな感じですかね。

東城：はい、そうです。

植草：で、それをやるとエネルギーを受け取れるからよくなるっていう、

東城：はい、もちろん自分で変な方向に行かなくなるっていうのが一番大きいのと、トラウマが少しずつなくなってるくるとか、あとは何ですかね、何かやるたびに「私はどうせ」みたいな、罪悪感とかも回避されていて、楽になってくるっていうのがありますね。

植草：なるほど。なんか今 DNA の話と魂っていう言葉が出てきたんですけど、魂ってものがそもそも何なのかちょっと教えてもらえますか。

東城：そうですね。

魂というのは本来は、例えば水晶玉みたいなものだったとしますよね。で、肉体というのは魂を入れる家なんですよ。

植草：肉体は魂を入れる家ですね。

東城：なんですね。で、そこに寄贈するために、例えば家でしたら電気、ガス、水道って引くじゃないですか。そういうのを司るのがチャクラだったりとか、例えば、家のガーデニングとかいろいろする方もいるし、家庭菜園する方もいらっしゃると思うんですが、そういうところをしているのが思考とか感情っていうふうな考え方していただいて、で、やはりおうちももう修繕不可能ってなるとお引越ししますよね。

それが魂の前世から今世に移るっていう作業で、だからここが満足いくまできちんと過ごした方たちは新しいきれいなおうちに引っ越すんだけど、ここで例えば中途半端に引越しをしなければいけないっていうような中途半端な方は、その時のものを持ってこちらでまた新しくやり直さなきゃいけないので、

植草：また、やり直さなきゃいけない、

東城：はい。じゃあこのかたちで再試験みたいな。

植草：じゃあ、その魂をいいものを持って来れるか、前世がよかったか、まあ前世で学ばないまま来ちゃったかっていうのは、まあ今の私たちからするともうその時点で差があるっていうふうなんですか。

東城：そうですね。

もうそれこそよほどの、もう神様の領域の方たちだったら別ですけど、人間として生まれてきている以上、もうすごい完璧にきれいに過ごしたっていう方っていらっしやらないと思うんですよ。

なので、多いのがほとんど人間関係でうまくいかなかったとか、例えば前世で殺人鬼だった方は今世でなぜかお医者さんだったりとかってというような、何かしら変えてっていうかたちだと思います。

植草：じゃあ、もう前世から受け継いだものはもう変えられないわけですから、そこを嘆いてもしょうがないですよ。

東城：そうです。前向きに考えなきゃいけないです。

植草：ってことですよね。だから、自分の前世が何だったかっていうのは、それは見てもらえばわかったりするんですか。

東城：そうですね、はい。

もちろん前世は一つではないので、よく皆さんが「私の前世何ですか」って言うんですが、その言ってる瞬間の時に関係ある前世はもちろん見れますよね。

だけど、例えば2回目の、前の前世ありますけど、実際にじゃあ前世見てって言われたら200人も300人もいる前世、全部見なきゃいけないってことになりますから、で、先ほども言った魂のかけら、ソウルメイトじゃないですけどかけらってありますよね。

かけらで持ってきているので、出会いの部分ではこれは前世っていうふうに、前世が全部少しずつ持って来ちゃってるので、すべての前世を見てくださっていうと20人ぐらいになっちゃったりとか、

植草：ああ、なるほど。

じゃあ、どこを持って来てるかわからないけれども、前世というものを引きずってっていうか、持って来ていますと。それがもういいか悪いかは正直、もう今の時代に生まれてきちゃったその人、まあ私たちであれば私たちは

もう変えようがないと、ここに関しては。

ということは、もう前向きに捉えて、じゃあここでよくするためにどうすればいいかということ、高次ですよ、宇宙とかからあるエネルギーを正しく受け取らなきゃいけないと。

でも、その受け取るためにはこの、まあ汚れとか傷とかですね、これを1回癒してあげて、きれいな状態にしないと受け取れないと、

東城：そうですね。

植草：だから、それがDNAの修復と呼んでいるということで大丈夫ですよ。

東城：はい、そうです。はい。

植草：で、このDNAの修復の方法とその方法のメカニズムとか、その辺をちょっと教えてもらえればなと思うんですけども、まず方法から聞きましょうか。

東城：そうですね、一番いいのは音叉ですね。

植草：音叉、チーンッですよ。

東城：はい、チーンッというやつですね（笑）。

東城：その中で、DNAの修復をされると言われている、528と言われているDNA専用のチューナーがあるんですよ。

この528というのはヘルツという周波数なんですけど、NASAのほうで

植草：NASAって、アメリカにある宇宙開発研究所みたいなやつですよ。

東城：はい。発している周波数とかを調べた時に、太陽から発している周波数というのが528ヘルツということで、その太陽のエネルギーは人間をそれぞれ元気にしてくれて、修復してくれる力があるので、その周波数を体に取り入れていけばDNAが修復しやすいっていうところがあって、それが科学的に証明をされていることなんですけど、まだ科学も証明されていない時代、イエスキリスト様の時代ってあるじゃないですか、その時にも聖ヨハネさんの音階って言われている周波数ですよ。

植草：では、聖人、ここを目指しなさいっていうことですかねえ。

東城：そうですね。

結局そのヨハネさんの音階を聞くと、結局自分たちが癒されて、修復していくという状態なんだと思います。

植草：なるほどですね。

確かにその音楽の話は僕もちょっと聞いたことがあって、例えばモーツァルトの曲を聞くと頭がよくなるとか、なんかいろいろあるじゃないですか。

それがやっぱクラシック音楽っていうのはそれを聞いた時に人間の感情の変化だけじゃなくて、体調の変化まで追求してなんか作られたものだみたいな話をちょっと聞いたことがあるんですけど、恐らくそういうような科学で証明できない時代でも実際に洗練された人というんですかね、もうそれを追求した人たちが、これはこうなんじゃないかっていうふうにして作っていった音楽の中の音階の一つで、最も効果があるものが 528 ヘルツということですよ。

東城：はい。

植草：で、じゃあそれを聞くと効果、修復されると、

東城：そうですね。もう継続的に聞いていただければ、悪い音階ではないので、時々それを聞くと頭痛がするっていう方もいらっしゃるんですけど、3回もし聞いていただいても頭痛がする場合は、その周波数が合わない方もいらっしゃるわけですよ。

なので、そういう方はちょっと控えたほうがいいと思うんですが、3回聞いた時にもうしなくなった方っていうのは、1回目で頭痛がするのはDNAが好転反応起こしてどうにか戻そうとしてる時なので、

植草：ああ、なるほど。じゃあ悪すぎる時にマッサージを受けると、

東城：そう、そう。

植草：好転反応で体がよけいだるくなるのと、まあほぼ同じような、

東城：はい、一緒です。

植草：メカニズムですね。

東城：はい。なので、毎日聞いてたほうが実際は効果はありますね。

植草：じゃあ、まあ悪すぎず、効果が強すぎて悪くなっちゃうってこともあるってことですよ。

東城：そうですね。

植草：じゃあ、ちょっとずつ聞いていったほうがいいんですかね。

東城：そうですね。もうそれこそ今日疲れたっていう時は聞いたほうがいいですね。

植草：ああ、じゃあ、それってどういうふうに聞けばいいんですか。

例えば、寝る前がいいのか、暗い場所がいいのか、朝起きた時がいいのか、で、イライラした時がいいのか、まあいろいろあると思うんですけど、

東城：はい。私が聞くのはお布団にももちろん入る前が一番多いんですけど、聞いてから寝る。で、それでも朝ちょっとしんどいかなって感じる時は、あえて朝移動時に聞くというのがありますけれど、皆様の場合はやはり寝る前が一番効果的なのかなと思います。

植草：じゃあ寝る前に、まあ今日プレゼントしていただける音を聞くのがいいということですね。

東城：はい。

植草：で、さっきのお話に戻りますけれども、聖ヨハネの話が出てきたんですけども実際に聖ヨハネは音叉をこうチンチン鳴らしてたわけではないですよ（笑）

東城：そうですね。教会とかの讃美歌にあります。

植草：讃美歌、あの高い声で。結構高い音ってことですよ。

東城：ですね、はい。

植草：今日はね、僕もなんか体験させてもらえるということで、皆さんと一緒に楽しみにしているんですけども、讃美歌の音階の一部がその 528 ヘルツが含まれているということなんですね。

東城：はい。

植草：結構あれですもんね、讃美歌とか聞くと、まあ僕も直接聞いたことはもう本当に数えるぐらいしかありませんけど、まあテレビでたまにやっていたりとか、クリスマスシーズンとかやっていたりするじゃないですか。

かなり神秘的というか、なんか自分がまるでその場にはいないかのような感覚というか、なんかそんなような気がしますよね。

東城：はい。

その時間だけが止まっているっていうか、無の状態になると言ったほうがいいのか、心洗われるって言い方ってこうなんだろうなみたいな、その場において一気に真っ白になったような気がしてしまうという、

植草：なので、よく愛に祝福された歌だということを言われてますけれども、まさにじゃあ、どのぐらいの歴史なんでしょうね。もう何千年という歴史ですよ。

東城：ですね。例えば海外で言いますと、イエスキリスト様の最後の晩餐に準備しているのがヨハネさんで、その時にはもうこの、

植草：ができあがってた。

東城：出たということなので、相当古いかと、

植草：ああ、じゃあもうその時代から人がまあ幸せになるっていうか、ありのままの自分になっていくためにはもう必要なものじゃないかというふうに認められてたということですよ。

東城：そういうことでしょうね。もう科学も何もない時代に、この音階がもう既に動いていたというのはすごいことですよ。

植草：はい。要は、世界三大宗教の一つなんですよんね、キリスト教、

東城：そうですね。

植草：そこでの経典とか教義じゃないですけども、一つとしてこれがもう祝福された歌だというか、一つの象徴的なものとしてもあったということですよんね。

東城：そうですね。

植草：なんかその高次のエネルギーを受け取るために、じゃあその音階を聞いて癒す、これなんか高次のエネルギーは何か使命を教えてくれてるんですかね。

例えば自分はもう生まれながらに前世から引っ張ってきているわけですよんね、魂っていうのは。それを元にして、そこで学びを得て次の世代にバトンタッチしていくにあたって、自分自身がこれをやりなさいよと。

今のあなたはこれをすべきだみたいな運命みたいなものが届くってということですか。そこまでではない？

東城：そうですね。

もう、もちろんその大きなところのくくりで言えば、使命とか宿命とかそういうものは降りてきますけれど、それ以外にも例えばちょっとお道が逸れすぎてしまって、本当に迷ってしまうような時とか分岐点とかという時ももちろんメッセージいただけますし、

あと最近では多いのは日頃の生活の時の例えば仕事を変えるというような大きい時とかにメッセージをいただいたりとか、あとは体調不良とかそういった部分でももちろんメッセージをいただけると思いますし、

植草：なるほど。

じゃあ、特にやっぱり転職すべきなのかどうかなのとか、まあ人生において大きな転機を迎えてるんじゃないかって、もやもやしてる人は、この音を聞いて1回整えてあげて、高次のエネルギーからの情報に耳を傾けてみるのがいいんじゃないかっていうことですよんね。

東城：はい、そういうことですね。

植草：例えば、よく話されることで運命の話なんかあると思うんですけど、まあ使命運命、これはもうこうしなさいって決められたものなのか、それともそれがわかった上で何かをすると変えられるものなのかみたいな、

よく運命は変えられるとか、いやそんなことないとかっていう議論が世の中の的にはあると思うんですけども、なんかその辺どういうふうに考えればいいんでしょう。

東城：そうですねえ。

使命とか宿命というのは、与えられてきているものなので、変えられるっていうのはまず難しいと思うんですよ。よほどの努力をしても、多分生きてるうちに変わるっていうのは難しいと、

植草：なるほど。じゃあ現世っていうんですか、

東城：そうですね。

植草：使命を変えるのはちょっと厳しいという、

東城：はい。ただ、ご縁だったり、運命というのは、その人が持っている運の命って書いて「運命」じゃないですか。なので、そこは自分たちが選ぶ道がいくつでもあるので、最終地点の答えは一緒なんですよ。

だけど、あみだくじみたいにいっぱい線があって、その中から進んでいけばいいだけなので、Aで行くと右回りで遠回りするよとか、Cで行ったら真ん中の道行くよというだけの違いなんですけれど、変えていくことはできます。

植草：なるほど。

それはできる限り、自分にとっていい道を選びたいっていうのが、みんな思うところですけど、その道の選び方というか、その選ぶのが間違えないのが高次からのエネルギーっていうことなんですよ。

東城：はい。

植草：ちょっとずつその高次のエネルギーとか、あと魂、DNA 修復について
なんとなく皆さんも恐らくちょっとわかってきたのかなと思うんですけども、
早速ちょっとやっていただいたほうが早いのかなと思いますので、やっていた
だきたいんですけども、受け方だけちょっと教えてほしいなと思ひまして、

東城：はい。

まずですね、リラックスはもちろんですけれど、背中、立っている時と座って
る時があると思うんですが、やはりチャクラの流れを一番よくするために姿勢
をまっすぐ正していただいて、なんですけど、
肩の力は1回ストンと落としてもらおうような状態ですね。

植草：チャクラはここですね。ここからこういう、こう縦のラインですね、はい。

東城：はい。

なので、流れをよくするためにまっすぐで。だけど、肩の力は抜いていただく
つもりで、1回上げてもらって下げる状態ですね。
あとはもう軽く目を閉じていただいて、鼻呼吸で構いません。

で、できる限り深く吸っていただいて、鼻からゆっくり吐いてっていう、
瞑想法とあまり変わらない状態で、

植草：なるほど。

東城：はい。で、呼吸が自分で安定するまで、8秒とかでゆっくりとしていただいて
という状態の中で、こちらでこのチューナーを鳴らしていく状態なので、

植草：うん、はい。じゃあちょっと僕はその状態を作るんで、

東城：はい。

植草：先生のほうに用意していただいて、

東城：はい。

植草：まず、ものの紹介をちょっと、

東城：はい。これが 528 ヘルツのチューナーになります。

よく売っているクリスタルチューナーとかエンジェルチューナーがあるんですが、これは DNA 修復の 528 という、ここに番号がふられています。

植草：書いてあるんですね。

東城：で、実際はクリスタルチューナーとかですと水晶でいいんですけど、今回 DNA の場合はやはり前世からの修復になるので、一番効果がある天然石はレムリアン、

植草：レムリアン、

東城：はい。レムリアンというのはここに過去の記憶、DNA が記されているという、線が入ってるという中にも入ってるという、ちょっとまだ解読ができていないという不思議な天然石で有名なんですね。

植草：へえ。石もね、なんかいろいろ種類がありますよね。

東城：で、ここを見ていただくと、ほら、線が入っているのわかりますか、これ。

植草：はい、はい。

東城：これが過去の DNA のすべての記憶が刻み込まれている文字盤と言われているのです。

植草：へえ、なんか年輪みたいなものですね、木の。

東城：そうですね。なので、これでやるのが一番効果があると言われてています。

植草：なるほど。じゃあ今日はそのレムリアンで 528 と合わせて、これはまあ最高に効果があるということですね。

東城：そうですね、この組み合わせが、はい。

植草：それじゃあ、皆さんと一緒にちょっと受けてみたいと思います。お願いします。

東城：はい、お願いします。

じゃあ、目を閉じて、自分の呼吸に入ってくださいよろしいですか。

植草：はい。

東城：はい。

チーン、チーン、チーン

東城：はい、それではまず、ゆっくりと呼吸をしていただきます。

チーン

東城：今この音階を一緒に吸い込んで、体内の中に落としていっています。

チーン

東城：罪悪感やトラウマが今修復されています。

チーン、チーン

東城：頭の中にある重い思考を解放していきます。

チーン

東城：最後に大きく深呼吸してください。

チーン

東城：はい、ゆっくり目を開けてください。

植草：ありがとうございます。

これ、皆さんも今受けていただいたと思うんですけども、いかがでしたでしょうか。なんかですね、僕は不思議な感覚ですね。

何て言うんでしょう、音が共鳴していて、モーンッという感じになってくるんですよ。そのモーンという感じがまず自分の中で凝り固まったものを

なんかやわらかくするイメージが僕はありましたね。

で、やわらかくなった時に、まあ先生は恐らく誘導をしてくださってるんだと思うんですけども、普段あんまり意識しないような固まっていた固形物のようなネガティブな情報なんでしょうね、これがね。

ネガティブな情報がずっと流れてくるような、要は氷でこう詰まっていたものが液体になって流れ出るような感じで、体がこう軽くなってくるといっつか、そんなことを感じましたね。多くの人がこんな感じになるんでしょうかねえ。

東城：そうですね。皆さん、そんな感じになっていきますね。

植草：実際にそれはやっぱりいろんな人は心の悩みとあると思うんですけど、そこにフォーカスをして、それがこうなんか治っていくといっつか、そういうイメージが湧くんですかね。

東城：はい。

例えば、この悩みというふうに考えて集中して、このチューナー聞いちゃうと、そこに対していっぱい治そう、治そうという力が入るじゃないですか。

なので、これはもう罪悪感とか漠然としたものを入れてもらったほうがそのものすべてが忘れていくような状態になっていくので、

植草：じゃあ、情報を抽象化してあげて、悪いこととかというふうにして、こう流れていくって感じなんですかね。

これ、実際にまあ今ね、本当は今、本当数秒でしたけれど、このぐらいで大丈夫なんですか。

東城：そうですね。最初のうちはこのぐらいでいいかと思うんですが、例えば、しっかりと寝る前にやる時はもうちょっと長めでやられていって、完全な状態で睡眠に入れたほうがいいかなとは思いますが、これぐらいでも十分、

植草：効果が、

東城：はい。

植草：これはでもあれですよ、1回というよりは毎日とか、継続していったほうが、

東城：もちろん継続したほうが、

植草：効果がいいということですよ。

実際に僕も今寝てないって言われたんですけど、聞いて、その日ぐらいに癒しにはなって、で、寝ると次の日の目覚めとか変わったりするもんですか。

東城：そうですね。すっきりしてしまっただけという方がやはり多いのと、あとは夢の中で行ったことのない場所に行って、知らない人にメッセージをもらったって方もいらっしゃるかと、

植草：じゃあそれはなんか前世になる記憶？

東城：記憶とか、あと断片的なものとかと、それこそ高次のエネルギーをいただける状態になったのかとか、悪いことじゃなくて導いてもらうような、そのポジティブな意見とかもらったとか、あと、なんか多いのは亡くなられたご家族の方が出てきたとか、結構聞いてるうちにそういう方が増えてきますね。

植草：じゃあ、もう癒されて余計な邪念がなくなってるから、その前世記憶の断片が、

東城：自分に落ちてきたりとか、

植草：落ちてきて、寝ている間の何も遮断がない時に会ったりするということですかねえ。

東城：はい。

植草：それはなんかよく夢からのメッセージとか予知夢とか、あとはちょっと飛んじやうかもしれない、アカシックリーディングとかこの辺の関係とは、

東城：やはり、アカシックとはつながっていくんだと思うんですよ。

それが強いかわいさの差であって、そういうところもあるのかなという感じがしますね。やはりクリアになってくるので、本来そういう霊感的なものとかは自分たちが備わってるものなので、そこがだんだん強くなってきて、たまたまつながることもありますでしょうし、

植草：なるほど。

アカシックリーディングというものがまずちょっと何かわからない人もいると思うんで、アカシックリーディングを教えてほしいと思うんですけど、アカシックリーディングとはどういうものなんでしょう。

東城：そもそも古いお話になっちゃうと、もう誰が創始者でとかはあると思うんですが、一番わかりやすく言いますと先ほど言った宇宙の法則的なところがあるって言って、皆様が生きていくその前世からすべてにおいて、現世、来世まで、宇宙の中に1人1冊ずつ本があると言われてるんですね。

植草：1人1冊ずつですか、宇宙に本がある。

東城：はい。

なのですが、まあそれが結局そこにアクセスをして、自分の、自分というかその人の先々起こることとか、全部もう読み取ることができるというのがアカシック、それが人間だけではなくて地球上だったり、あと生物だったり、天変地異とかそれらも全て記されているという図書館があると言われます。

植草：なるほど、なるほど。それは天変地異とか、例えば1人に1冊、じゃあその大きな図書館だとして本があります。

で、誰の本にまずその天変地異とか書いてあるとかって決まってるんですか。それ、ちょっとなんか大元の大將みたいなのが、

東城：そうですね。

多いのは、例えば、植草さんの見た時に、じゃあ何月何日地震で怪我をすることで記されていてという状態で、ああじゃあこの時期に地震が起きますねというような状況が起きたりとか、あとはたまたまAさん、Bさん、Cさんというのが別々の場所にいるんだけど、津波が起きますねとかというふうな、

植草：なるほど。じゃあ、それぞれに書いてあって、それがまとまった情報になるとこの日に津波が来てとか、何とか来るみたいなことになると、

東城：そうですね。

植草：そうなる、やっぱ多くの方はその図書館に行きたいと思うと思うんですけど、これ、みんな行けるものなんですか。

東城：アカシックレコードに関しては、靈感、霊視がある人というふうには言われているんですが、今までに靈感は皆さん備わってるのであれなんですけれど、霊能者さんだけが特有にいけるものではなくて、アカシックレコードというのは高次元でエネルギーってどの部分につながるかということと、

自分の靈感という、持っている潜在意識のものを評価できるかというか、自分に自信を持ってきちんとそれを確立していくかで、アカシックレコードはつながっていけると思います。

植草：じゃあ、条件としては今二つ出てたと思うんですね。

まず一つは今日教えていただいている高次のエネルギーをしっかりと受け取るということ、あとは今お話に出ました、靈感を強めるみたいなお話があったと思うんですけども、これは何かちょっと簡単でいいんでどういうことなのか、

東城：まず単純なところで言いますと、今日何が食べたいかなって思った時の映像が浮かんだらそれを食べるとか、

あとは、今日行きたくないなと思った時に、頭でまず行きたくない言い訳を考えるじゃないですか。じゃなくて、なんで行きたくないんだろう、私、行きたくないんだというふうに認めてあげて、でも外せないお仕事だったりすればだめじゃないですか。

なので、そこは頭で考える自分がいて、これを外せないという言い訳を作ってるんですよ。でも、じゃあ、もしそれこそ電車が全部止まっちゃってて交通機関がなかったら行けないじゃないですか。

なので、そういう状況でも行かなきゃいけないのかというのを心に問いかけるんですよ。

植草：なるほど。

じゃあ、第六感的な自分の感覚がこう正しくなって生まれてきて、それについてこう自分が素直に従っていくと靈感というものも高まってくる感じ、

東城：そうですね、はい。

植草：この二つの条件ですよね。高次のエネルギーと自分の感覚を研ぎ澄ませていくことによって、アカシックリーディングで出させてくれることという、なんか図書館みたいなのところに行けると。

実際にそこに行ける、コネクションできる、コネクトできる人っていうのは、日本に何人ぐらいいるんですか。

東城：私の知る限り、まあ霊視ももしアカシックレコードに入ってしまうのであればやはり数千人いるかいないかって思ってますね。そんなに多くないと思います。

で、アカシックレコードというピンポイントで図書館に入り込める人は多分、日本の中で100人いないと思います。

植草：なるほど。

そうすると、その100人に会える確率のほうが普通の人は少ないですよ。

東城：はい。

植草：はあ。なんか見分け方とかあるんですか。

東城：うーん、もう、やはり情報社会なのでインターネットとかで調べれば出てくる方はいっぱいいらっしゃると思うんですけど、しっかりとした、何だろう、例えば、ホームページとかブログでもいいことばかり書いている人っていう方たちはどうかなって、私は正直（笑）

植草：確かに。東城さんは行けるんですよ。

東城：ひとまず入り込むというか、そこに潜入するっていう状態で、大変なんですよだから、ピンポイントの本を皆さんみたいにアカシックレコードのリーディングできる人たちみたいに、例えば植草さんの本ってもう取ればいいんですけど、そこまでやはりちょっとまだぼやけるので、その辺にある本全部持って来て、そこから調べる必要が。

植草：調べ物みたいな感じなんですよ。けども、そうやってやりながら、よりその人に適したというか、正しい療法を取ってくるっていうことですよ。

東城：はい、そうです。

植草：今日は最初は DNA 修復のお話だったんですけども、かなり興味が出てしまって、アカシックリーディングとか霊視とかそういうお話まで広がってしまっただんですけども、ちょっと話をまとめたいと思います。

今日の学びは高次のエネルギーですね。まずは高次のエネルギーを解放するワークということで始まっています。

で、そもそも高次のエネルギーというのは宇宙からエネルギーが届いている。ただし、私たち自身の DNA が傷ついてしまったり、汚れてしまっていると、それを正しく受け取ることができませんと。

なので、まず大事なのは、私たちの DNA を修復していくことというふうに学びを得ました。で、この DNA が修復されることによって、高次のエネルギーを受け取ることができる。

この高次のエネルギーを受け取ると、私たちの使命に向かって最善の道を自分のほうで、まあ選ぶ、まあ自分が選んでるんじゃないでしょうね。きっと届いていて選ばされてるのかもしれないんですけど、けど間違いない。

間違いないから自分が心地よくというか、自分が目指すべきものを受け取っていくことができるというふうに学びを得たんじゃないかなと思います。

その DNA を修復していくには、まず簡単なというか最も効果がある方法を教えていただきました。レムリアンですね。

東城：はい。

植草：この石で 528 ヘルツの音叉で毎日少しずつ癒していくということが近道だというふうに教えていただきました。

なので、先生より今日プレゼントがありますので、その 528 の音源を聞いていただいて、今までの悩みとかを少し抽象的にすることも教えていただきましたね。

東城：はい。

植草：イライラするぐらいでいいんですかね。それをここが流れていくようなイメージを持って聞いていただくというふうにしていただくと、かなり人生のほうがかれだけでも変わってくるんじゃないかというふうに思います。

次回なんですけれども、次回はいよいよお金を浄化する儀式というものをなんと教えていただけるということです。お金を浄化というと、実は僕、信じられてない部分がありました。

東城：(笑) はい。

植草：なんかちょっと胡散臭いなど。僕なんかこう会社の経営をしているんで浄化とかじゃなくて、努力しなきゃだめだし(笑)

まあ正しい、何て言うんですかねえ、経済活動をしていかなければお金っていうものは入ってこないというふうに思っていたんですけども、実は経営者になってからのほうがそういう直面することがあって、なんであの経営者のところにはいつともなんかいい話が舞い込んできてる。

でも、かたや全然うまくいってないでなんか途切れ途切れになっちゃったりとか、もっと悪いところになるとこう借金じゃないですけども、もうそれでこう身動きが取れないみたいになってしまっている人がいて、これもなんかやっぱエネルギーというか、ただ単純にビジネス書で言われていることだけでは片付けられないものがあるのかなっていうふうに、まあちょっと思っている節があるんですけども、そのあたりお話しいただけるといいことですかね。

東城：そうですね、はい。

植草：金運を高めるということなので、実際あれですかね、金運が高まって、ビフォーアフターみたいな感じだと人生が変わる人もいるんですね。

東城：そうですね、全然変わりますよね。

植草：ということで、次回はお金を浄化する儀式について学んでいきたいというふうに思っております。第3回も楽しみにしててください。
それでは、ありがとうございました。

東城：ありがとうございました。

次回の Lecture3 では、

『お金を浄化する儀式』

～幸せな金運人になるワーク～

を惜しみなくお伝えします。

例えば、お金が持っているその運気が悪かったら、そこを浄化していく、お金の流れを良くしていく。あなたにも運気のバイオリズムがあるように、お金にも流れがあります。

したがって、その流れをつかんでいくと、お金の運気は自然と上がっていくものなんです。

そこで第3回目のレクチャー動画では、もう、お金そのものが持つ運気を改善していく方法を伝授し、さらにはお金と幸運体質の波長を合わせていきます。

絶対にお見逃しなく!!

【東城凜・プロフィール】

強力な霊視で、延べ4万人以上の方の悩みを鑑定し、負のエネルギーを浄化し、お金、恋愛、人間関係など人生や運命を好転させるヒーリング・占術の専門家。

霊感・霊視、タロット、数秘術、四柱推命、アカシックレコード、辻占（つじうら）、形代（かたしろ）、五行、西洋占術、黒魔術、魔女学、風水による方位学等、様々な占術を習得。

個人から上場企業の幹部に至る様々な悩みに応え、大手上場企業の幹部までもが人事を決める際などに、鑑定を依頼。さらに某有名サイトでも占い鑑定では圧倒的な人気を誇り、ソーシャルメディアでも多数のファンがいて、現在も対面鑑定などは予約殺到中。出版社からも引き寄せの教材や占いアプリがリリースされるなどメディアでも多数活躍している。



Spiritual Connect

スピリチュアルコネクト